

かるがたけ 霞露ヶ岳



山田湾
 山田湾は、地形的特徴から湖のように見えることから「海の十和田湖」とも呼ばれます。
 湾口の幅は約2.7km、湾の奥行きは約6km。
 もっとも幅が狭いところは約600m。
 この独特の形のおかげで山田湾は外洋の影響を受けにくく静かで養殖に適していると言われています。
 山田湾には大沢川、織笠川など複数の河川が注いでいます。これらの川が三陸の背後にそびえる急峻な北上山地の山々の豊富な栄養分を注ぎ込み、湾内では多くのプランクトンが発生し、牡蠣やホタテを育てています。

霞露ヶ岳は山田町船越半島にそびえる標高507mの山です。登山道が整備されていて、海拔0mから登山できます。また、海岸に近い山としてはブナの原生林が生育している稀有な山でもあります。みちのく潮風トレイルのコースにもなっています。
 (裏面にトレイルコースの地図あり)

- 最寄りの駅：三陸鉄道岩手船越駅
- 漣磯海岸～山頂 約1時間50分
- 山頂～霞露ヶ岳参道口 約50分
- 霞露ヶ岳参道口～漣磯海岸 約30分

船越半島は場所によっては携帯電話はつながりません。
 登山、トレイルについて事前に家族などに知らせておきましょう。



津波碑のマークです。
 説明は裏面をご覧ください。

くじらやま 鯨山

鯨山は、岩手県山田町と大槌町の境界に位置する標高610メートルの山です。
 かつて、この地方に疫病が発生し、浜に打ち上げられた鯨を食べたら元気になったことから、浜が鯨で大量だったとき人々が鯨に似たこの山に集まったなどの言い伝えがあり鯨山と呼ばれるようになったようです。
 山頂からの早池峰山、船越半島、浪板海岸などの眺めを楽しめます。

鯨山 至 大槌町